

都市再生整備計画 事後評価シート
追浜駅周辺地区

令和5年3月

神奈川県横須賀市

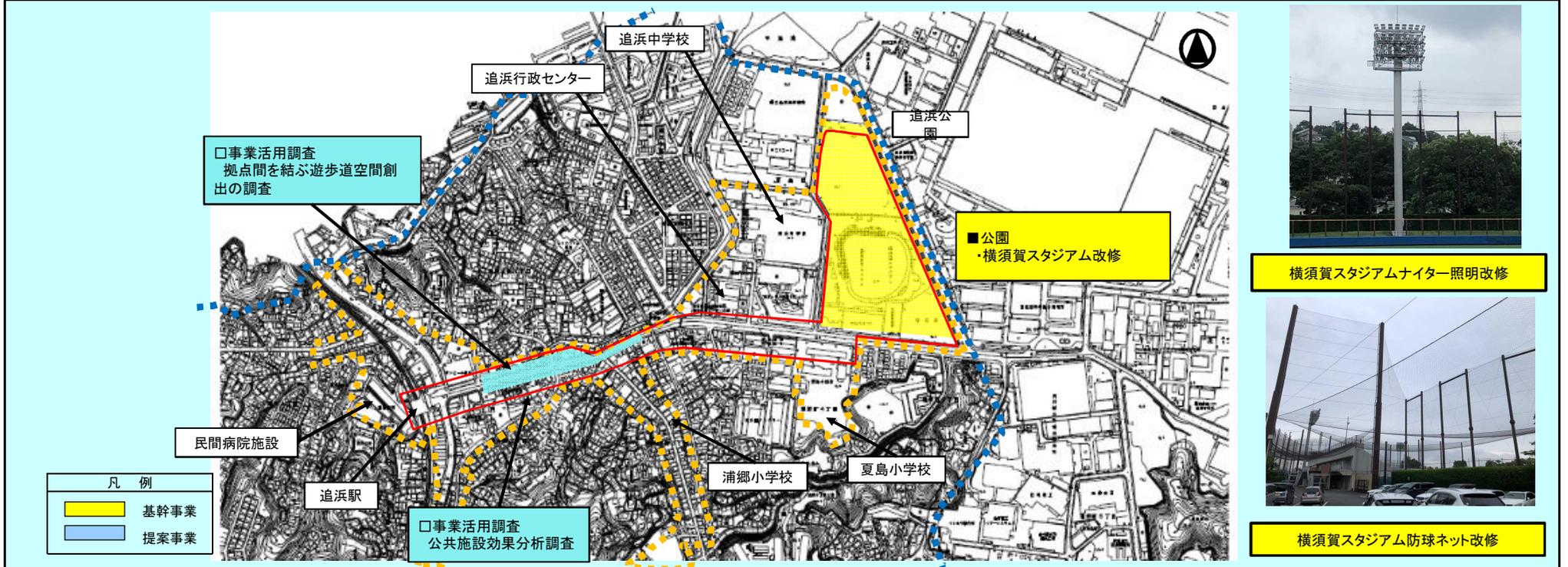
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横須賀市		地区名	追浜駅周辺地区			面積	15.8ha	
交付期間	令和2年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	254.8百万円	国費率	1/2			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園:追浜公園								
			提案事業	事業活用調査:拠点間を結ぶ遊歩道空間創出の調査検討								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業									
	新たに追加した事業		基幹事業									
提案事業			事業活用調査:公共施設効果分析調査		駅前再開発事業の施設建築物に図書館を入れることにより、追浜公園を利用する観光客の利用も十分に見込まれ、滞在時間が長くなり、消費も促すことができる。			図書館が駅前に移転すれば、利便性が向上し、指標の「市民アンケートの住みやすい回答人数」をさらに増加すると考える。				
交付期間の変更	当初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
	変更	令和2年度～令和3年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	追浜駅周辺地区における商店街の空店舗率	%/年	6.8%	2017	6.2%	2021		7.4%	×	あり なし ○	-
	指標2	追浜駅周辺地区の観光入込客数	万人/年	16万人	2017	19万人	2021		2.8万人	×	あり なし ○	-
	指標3	市民アンケートで「住みやすい」と回答する追浜地区の人数	人/年	4,600人	2019	5,200人	2021		6,100人	○	あり なし	-
	指標4									あり なし あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	2021年4月16日横須賀スタジアムナイター照明改修後、初のナイターによる試合が開催され、市民等多く来場された。駐車場天井ネットの効果について、ボールが落球せず、ネットで防いでいるため、その後事故が起きていない。											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

追浜駅周辺地区（神奈川県横須賀市）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：本地区を中核拠点として、既存ストックの運動公園である追浜公園の整備により賑わい拠点を形成し、集客・交流人口の増加を促進する。 小目標：スポーツ交流拠点を創出し、横浜DeNAベイスターズの総合練習場の誘致による地元町内会や商店街等が連携したまちづくりを推進する。	追浜駅周辺地区における商店街の空き店舗率	単位：%/年 6.8 H29	6.2 R3	7.4 R3
	追浜駅周辺地区の観光入込客数	単位：万人/年 16 H29	19 R3	2.8 R3
	市民アンケートで「住みやすい」と回答する追浜地区の人数	単位：人/年 4,600 H31	5,200 R3	6,100 R3
		単位： H	H	H
		単位： H	H	H



まちの課題の変化
 ・本市を訪れる観光客は回遊性が低く、滞在時間が短い観光が主流であったが、追浜公園の整備により、賑わい拠点が形成され集客・交流人口の増加が図られている。
 ・駅前の市街地再開発事業の施設建築物に図書館が入ることで、滞在時間を長くし、消費を促すことにつながる。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）
 追浜駅周辺の交通ネットワークを向上させるとともに、市街地再開発事業により整備される商業、住宅に加えて公共公益施設等の集積を図り、賑わいのある地域拠点を形成する。

都市再生整備計画 事後評価シート
汐入駅周辺地区

令和5年3月

神奈川県横須賀市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横須賀市		地区名	汐入駅周辺地区			面積	71.5ha		
交付期間	平成30年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	345.9百万円	国費率	1/2				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		地域生活基盤施設:情報板設置 高質空間形成施設:デザインサイクルスタンド設置 高次都市施設:観光交流センター:(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンター								
			提案事業										
	当初計画から削除した事業		基幹事業										
			提案事業										
	新たに追加した事業		基幹事業										
提案事業			地域創造支援事業:(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンター内デジタルコンテンツ制作		デジタルコンテンツの制作を行い、(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンターの魅力が高めることで集客を促進するため			(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンターの魅力を高めることは、汐入駅周辺地区の観光入込客数の増加に影響があると考えられる					
交付期間の変更		当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	汐入駅周辺地区における商店街の空き店舗率	%/年	8.0%	2017	6.8%	2020		3.8%	○	あり	2020年まで順調に観光客数が増加しており、2020年4月の駅前ショッピングモールのリニューアルオープンや2021年5月の「よこすか近代遺産ミュージアム ティポディエ邸」の開館も加わり、汐入駅周辺の観光客や買い物客の増加を見込んで、商店街への出店があったものと考えられる。	-
	指標2	汐入駅周辺地区の観光入込客数	万人/年	349万人	2017	415万人	2020		215万人	×	あり		
	指標3										あり		
	指標4										あり		
指標5										あり			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンターは、正式名称を「よこすか近代遺産ミュージアム ティポディエ邸」として、令和3年5月29日に開館した。開館前に行ったメディアや関係者への3日間の内覧会、5月29日に行った開館セレモニーにより、汐入駅周辺地区に新たな賑わい拠点が整備されたことが新聞や雑誌、WEBメディア等を通して、広く発信された。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

汐入駅周辺地区(神奈川県横須賀市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:本地区を中核拠点として、市内に点在する既存ストックである近代歴史遺産の整備により賑わい拠点を形成し、集客・交流人口の増加を促進する。	汐入駅周辺地区における商店街の空き店舗率	単位: %/年	8.0 H29	6.8 R2	3.8 R3
	汐入駅周辺地区の観光入込客数	単位: 万人/年	349 H29	415 R2	215 R3
小目標:それぞれの拠点をネットワーク化することで交流拠点を創出し、官民連携で地域経済の活性化を図り、魅力あるまちづくりを推進する。		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R

■高次都市施設
・観光交流センター
ガイドランスセンター 1か所

□地域創造支援事業
・ガイドランスセンター内のデジタルコンテンツ制作

■地域生活基盤施設
・情報板
図解、説明サイン 6か所
QRコードによる多言語対応サービス

■高質空間形成施設
・ストリートファニチャー・モニュメント
デザインサイクルスタンド 2か所

■高質空間形成施設
・ストリートファニチャー・モニュメント 2か所

■高次都市施設・観光交流センター
正式名称:よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸

■地域生活基盤施設
・情報板 6か所
図解、説明サイン、QRコードによる多言語対応サービス

凡例

- 計画区域
- 都市機能
- 誘導区域
- 基幹事業
- 提案事業

※都市機能誘導区域は全て居住誘導区域内に含まれている

まちの課題の変化	・基準値としていた平成29年から令和元年にかけて、観光客数は順調に増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	YOKOSUKAビジョン2030(基本構想・基本計画)や横須賀再興プラン(実施計画)で目指す政策方針を踏まえ、横須賀市観光立市推進アクションプラン2023~2025を策定し、観光の核となる地域資源を創出し、磨き上げと活用を行い、新たな核となる拠点(目的地づくり)と既存コンテンツの質の向上を図り、地域資源をつなぐ仕組みづくりに取り組む。